

学校の魅力を伝え、教育活動の改善に向けた課題形成を図る 各種アンケートの現況調査と既存データのたな卸し

学校評価アンケートで「自分の将来を考えて行動を選択できるようになったか」「規則正しい生活をおくれるようになったか」という質問があったとします。単純集計で「肯定的な回答が80%」という結果が示されても伝わるものは多くありません。良いか悪いかさえ判断がつかない場合すらあります。

これに対し、「現2年生では1年前に比べて肯定的な回答が〇%上昇した」という表示なら、好ましい資質を獲得していく様子を教育成果として伝えることができます。予復習の習慣形成を目的として行った夏の勉強合宿の前後で、「家庭学習時間が1日2時間を超える生徒が35%から54%に増えた」という結果からは、学校が整えた指導機会の有効性が伝わります。

また、時間と労力を投じて続けてきた取り組みが、データと照らしみたら期待ほどの効果を上げていなかったり、そもそも効果を測るためのデータが取れていなかったりすることも、「たな卸し」を通じてたくさん見つかります。学校広報のためだけでなく、教育資源の適正配分を実現するためにも、既存データのたな卸しはどこかできちんとしておくことが大切です。

データの活用にあたり、「集める」「ためる」「つかう」の3つフェイズをきちんと回すことによって、教育活動の成果を示し、入学してくれた子どもたちの成長の足跡をストーリーとして内外に示しましょう。3つのフェイズそれぞれに隠れた改善課題は、学校によってタイプも程度も様々です。まずは、これまで行われてきたアンケートや各種調査の実態と保存されているデータのたな卸しをしましょう。どこに手を入れればよいのかを明らかにしてから作業工程を描き出せば、以降の作業の効率化が図られ、結果的に工期・費用のご負担が軽くなります。

ご提供する業務の基本仕様

概要: 御校でこれまでに実施されてきた学校評価アンケートや、進路希望や学習時間などの各種調査、進路指導行事(進路講演や大学訪問など)の際に取ったアンケートなどについて、以下の観点に照らした点検調査を行います。

1-1 質問設計(質問内容と尋ね方、選択肢の設定など)

1-2 データの集め方(回収方法、集計方法、保存状態、他データとの連携)

1-3 データの使い方(学校広報や効果測定におけるこれまでの利用方法)

目的： 学校広報を通じ、御校に通うことで体験できる“成長のストーリー”を教育成果を示すデータとともに示すという目的に照らし、

2-1 既存情報をどのように活用できるか(情報編集の可能性)、

2-2 さらに効果的な利用に向け、これまでの方法に改めるべき点はないか

という2点を明らかにすることを主眼に分析とご提案をいたします。

方法： 以下の資料をあらかじめご用意ください。(質問用紙、集計結果、関連文書)

定常的にご利用されている(=日頃から所在がはっきりしており、必要に応じて即時に閲覧できる状態にある)ものだけでかまいません。

3-1 学校評価アンケート(保護者、生徒、教職員)

3-2 進路希望調査、学習時間調査などの定点観測資料

3-3 主要な教育活動における参加生徒アンケート

3-4 その他、卒業生アンケート、学校説明会の来訪者に対して実施したアンケートなど

資料を拝見したのち、不明点補完のためご担当先生へのヒアリングを行います。

※見込み所要時間： 資料点検 360分、補完ヒアリング 60分程度

成果品： 以下の各項目につき、対面(口頭)でご報告を行い、今後の対応をご提案いたします。

4-1 アンケートの設計及び実施方法等における、修正すべき問題点

4-2 既存情報の学校広報への効果的な利用に向けた、加工・編集の可能性

4-3 上記2点について、具体化のために想定される工程(および概算費用)

※見込み所要時間： ご報告、次工程についての協議 60分

※文書での報告は、次工程の計画書(+費用概算)の形で後日お届けいたします。

費用： 金90,000円(消費税等8%を含む)

(内訳)

資料精査、ヒアリング、協議(当日作業) 7,000円/h×8時間=56,000円

次工程の計画書「ロードマップ案」作成 一式 28,000円

出張料、交通費(往復2時間以内の近隣) 6,000円(条件外の場合はお見積りします)

以上

ご用命、お問い合わせはホームページのメールフォームをご利用下さい。

教育実践研究オフィスF

<http://www.kyouikujissen-ofcf.jp>

196-0021 東京都昭島市武蔵野二丁目 17-2

代表 鍋島史一

教育実践研究
practical research
for education
オフィスF